

**平成29年度
第1回 大磯町総合教育会議**

**「信頼関係による
学校づくりの実現」**

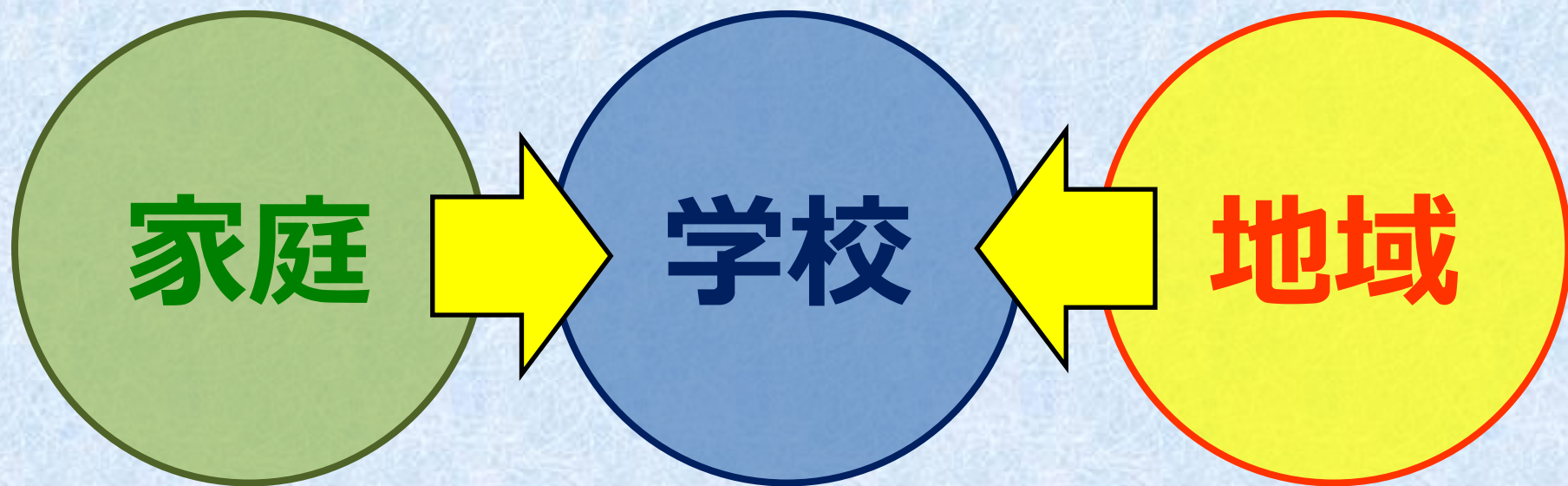
平成29年7月31日

大磯町 政策総務部 政策課

平成28年度

総合教育会議を振り返って…

現在の学校教育を取り巻く実態 (イメージ)



学校にお任せ？

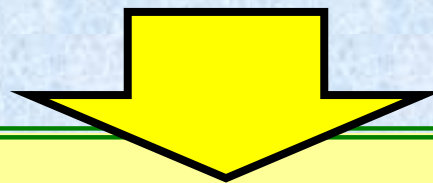
学校教育を取り巻く背景①

- ① 保護者等の価値観の多様化
- ② 教員の世代間格差
- ③ 教員の多忙化

学校教育を取り巻く背景②

① 保護者等の価値観の多様化

- ・ いろいろな世代に育った保護者
- ・ SNS時代の急速な普及による情報過多時代の到来



予測不可能な問題提起

学校教育を取り巻く背景③

② 教員の世代間格差

- ・ 団塊世代の大量退職
- ・ ベテラン教員と若手教員の
年齢格差の拡大化
- ・ 保護者より若い教員の増加

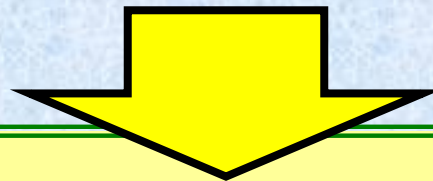


年齢の不均衡による保護者の不安

学校教育を取り巻く背景④

③ 教員の多忙化

- ・ 事務処理、保護者対応等の子どもとの関わり以外の仕事の増加
- ・ 部活動等による授業以外の
仕事の増加



子どもたちと向き合う時間の減少

信頼関係を実現するためには…？



- ① 教員が質・能力を
向上させる機会の確保
- ② 教員の子どもたちと
向き合う時間の確保

教育委員・教職員からの意見

～ 教職員 8 名が参加 ～

(第 2 回総合教育会議)

教育現場における現状と課題

【教員】

- ・ 研修自体が多忙化の原因
- ・ 一人が受け持つ校務分掌の増加
- ・ 経験のない部活動の顧問

【児童生徒】

- ・ ライン（携帯電話）によるトラブル
- ・ 家庭での学習時間の格差

改善に向けた具体的な取組み①

【質・能力を向上させる機会の確保】

- 基本的な子どもたちへの接し方研修
- 問題行動を取る子どもに対する研修
- 授業づくりのための研修
- 労働者としての労働法規等の研修

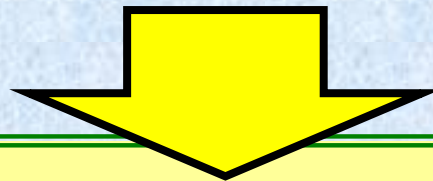
改善に向けた具体的な取組み②

【子どもたちと向き合う時間の確保】

- 教育支援員・指導協力員の継続・増員
- 電話オペレーターの登用（OB教員）
- スクールカウンセラー・アドバイザーの配置
- 部活動ルールの改正（地域指導者等）
- 保護者ボランティアの育成

改善に向けた今後の方向性

- 子どもに感動を与えられる教員の育成
- 子どもたちと話し合う機会の提供
- ゆとりを持てる人員配置
- 「家庭」「地域」と役割分担する仕組み



「質・能力の向上」と「時間の確保」

平成29年度の取組み

- スクールソーシャルワーカーの配置
- スクールアドバイザーの配置
- 教育支援員や指導協力員の増員
- 「日常授業の改善・充実」に
向けた教員の実践研究・研修

「改善された点」と「課題」は…？

平成30年度以降の取組み

☆ 平成29年度の取組みの改善？

☆ 中長期的な取組みは？

- ・ 中学校の部活動
- ・ 地域や家庭の役割分担
- ・ その他、時間にゆとりを

持てる取組み など

信頼関係による学校づくりの実現

